

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2019年 12月 3日

事業所名：にゃんぶキッズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	運動や学習、面談等に応じて必要なスペースを確保している。	体を動かす活動になると少し狭いような気がします。 はい74% どちらともいえない23% わからない3%	現在の所、改装工事をする予定はなく、限られたスペースでの運動に工夫を行っていきます。
	2 職員の適切な配置	利用される人数に応じて基準を満たす人員配置を行っている	はい91%、どちらともいえない6%、わからない3%	今後も基準を遵守します。スタッフの資格に関しては、ホームページや玄関入り口にスタッフ紹介として貼っております。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	写真や絵を用いて視覚支援を実施している	入口の階段はバリアフリーではないと思います。 はい80%、どちらともいえない13%、わからない7%	2階までが階段という課題を残している
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日活動後に、掃除・清掃を実施し不快感を与えないようにしている	はい100%	面接室には季節に応じて冷暖房器具をとりい
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務改善への意見は随時取り入れ、また全職員が積極的に参加できるよう職員の良好な関係性作りに努めている。	/	PDCAの流れを確立し、職員全体が「改善」に意識をもって取り組めるよう努めていきます
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による評価は実施しておりませんが、学校・保育園関係者や相談支援員には適宜見学にお越しいただいております。	/	今後、外部から評価によってよりサービスの質を高めていく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	随時ミーティングは行っており、外部研修には各職員にて参加をおこなってもらっています	/	今後テーマにそった職員研修を確立していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者様にアセスメントシートを作成していただき、それも基づいて相談内容を聴き取り、それを担当者会議で分析・アセスメントし、個別支援計画を作成している	はい97%、わからない3%	どのようなご家庭の相談にもこたえられるようにより質の高い担当者会議を努めていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	各曜日ごとにプログラムを設定しており、一人一人に応じた個別の課題を実施している		個別も集団も子どもの発達には必要なものと捉え、今後も計画の作成をおこなう
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援者会議を行い、職員間で共有しながら支援内容を設定している		相談支援員や保護者様から聞き取りし、具体的な支援内容を設定していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	連絡ファイルやミーティング等で職員間で支援内容や目標の共有を図っている		今後も全職員で支援の内容を把握、共有する
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員同士で意見交換したり、ミーティングでイベント・プログラム等の意見を出し合っている		日々職員間でコミュニケーションを取り合い、意見を出し合える雰囲気作りに努める
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休暇での利用できる時間や人数によってその都度活動内容をかえている		今後、季節イベント等も含めた活動内容を考えていきたい
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	随時子どもの評価に応じて活動内容をかえている。ときには子どもたちにやりたい内容を意見を出し合って決めている	はい94%、わからない6%	個々の子どもに応じた活動内容をおこなっている
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日の活動の主導権をもつ人、補助にまわる人など、毎日職員間で話し合い動いている		今後も職員間で話し合い、共有することで、支援方法のズレの防止、よりよい改善に努める
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日終了後に、職員間でその日の対応方法等について確認・話し合いの時間を設けている		今後も継続しながらより職員間で情報の共有を図っていく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用のたびに子どもの行動やその対応方法等を記録し、職員間で共有しモニタリングへといかす		今後も正確な記録をしつつ、それぞれの着眼点の違いの共有等が課題です
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に相談支援員と支援内容の確認をし、保護者さんと面談し、担当者会議によって支援を見直しを行っている		今後もモニタリング、計画の見直し、作成を実施していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画		今後は障害児支援事業所との関係を深め さらに情報共有を行えるように努める	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在医療的ケアが必要なお子様や、重症心身障害のあるお子様のご利用はありません	今後、医療的ケアが必要なお子様や、重症心身障害をおもちの方がご利用される場合は関係機関と連携し適切な支援が行えるように配慮する	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	見学等にお越しいただき、情報共有を試みています。が、定期的・継続的な情報共有ができる段階には至っておりません	各関係機関との連携を築き、情報共有を行えるように努める	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	これまでに対象となるケースはなかった	今後の進路支援を考慮し他の障害福祉サービス事業所とも連携がとれるようにつとめる	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	会社全体としての研修は現在おこなうことができていません	サービス向上のため、全職員が研修に参加できるように配慮したい	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	他の事業所や地域住民の方との交流する機会はなかった	はい13%、どちらともいえない0%、いいえ29% わからない58%	個人情報の保護にも注意しつつ、地域に開かれた事業運営を努めたい
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援方針や利用者負担等については契約時にご説明させていただいている	はい97%、どちらともいえない3%	今後も契約時の説明のほか、適宜支援内容を丁寧に説明させていただく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者様にお時間をとっていただき、書面・口頭で定期的にご説明させていただいている	はい97%、どちらともいえない3%	今後も、よりご家庭の相談にそって丁寧に説明させていただく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在具体的にプログラムを組んでのペアレントトレーニングは実施していません	アドバイスはいただいているが、ペアレントトレーニングではない。 はい26%、どちらともいえない10%、いいえ13% わからない52%	今後は、ペアレントトレーニングのプログラム作り、随時ご提示させていただきます
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に窓口にて保護者様とお話したり、連絡帳を用いて連絡をとり、適宜面談の機会を設けている	はい100%	今後も保護者様と信頼関係を築き、よりフットワークよく面談できる機会を設けたい
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	「頻繁」には面談できる機会をつくれていません。指導後に保護者様と様々なお話しをさせていただいている	はい97%、わからない3%	今後も保護者様と信頼関係を築き、よりフットワークよく面談できる機会を設けたい
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会等の開催は現在おこなっていません	はい6%、どちらともいえない3%、いいえ45% わからない45%	保護者会やその他保護者の皆さまに向けた会等のご要望があれば機会を作りたい
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口を設置し職員間で共有して迅速に対応できるように努めています。また日ごろから指導後に様々なご意見を頂戴しております	はい42%、どちらともいえない3%、いいえ0% わからない55%	今後も苦情がないように徹底してまいります
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用時には連絡帳にて活動時に様子を記載し、送迎時にお伝えさせていただいております	はい100%	連絡帳等ではお伝えきれない事項については面談の機会を設けたい
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月ごとに活動概要を記したおたよりを玄関に提示しております	はい13%、どちらともいえない3%、いいえ19% わからない65%	今後はホームページ上でも情報を発信していきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報を持ち帰らないように徹底し、名前等が記載された書類は必ずシュレーダーを通すなどの対応をとっていただいております	はい90%、わからない10%	今後も個人情報が外部にもれないよう最大限配慮するとともに、現在行っている対策を徹底して実行してまいります
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	対応マニュアルは作成しているが、保護者様への周知がまだ徹底できていない	はい35%、どちらともいえない19%、いいえ3% わからない42%	作成しているマニュアル等を保護者様用に作り直し、配布・説明を行う
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害時の避難訓練等は定期的に行っているが、職員間のみでの共有にとどまっている	はい16%、どちらともいえない3%、いいえ6% わからない74%	職員の役割を確認し、災害体制を確立するとともに保護者様に周知徹底していく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員間で研修をおこなってはいるが、現在は外部研修にまで参加できていない		職員が外部の研修にも参加できる機会をつくっていく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束についての規定は欠かさず記載しているが現在のところ実例はない		自傷・他傷行為のある子どもへの支援の仕方や関わり方についての知識をふかめる
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	初回利用時に聞き取りをおこない、おやつの中には確認している。飲み物については持参してもらっているが、購入が必要な際は、お電話にて随時確認をとっている。		子ども同士の食べ物のやりとりがおこらないように職員が随時注意して観察している
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	現在ヒヤリハット事例集を作成できておらず、随時職員間で口頭での注意喚起にとどまっている		早い段階でヒヤリハット事例集を作成する。完成次第研修を行い職員間で情報を共有する

れる

,

,<

す。

